

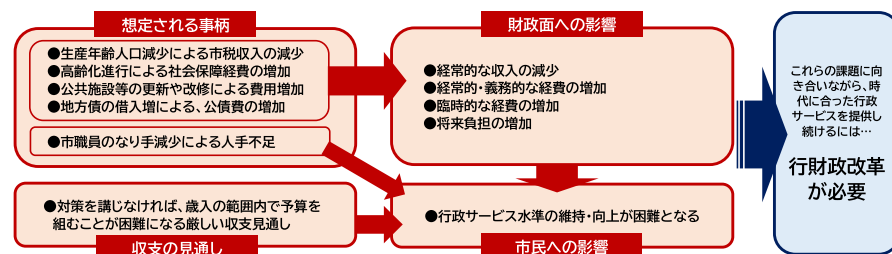
富田林市 第5期行財政改革プラン(素案)【概要版】

1.計画の趣旨

富田林市では、平成17年度から4期20年にわたり、行財政改革に取り組んできました。(効果額実績累計約146億円)

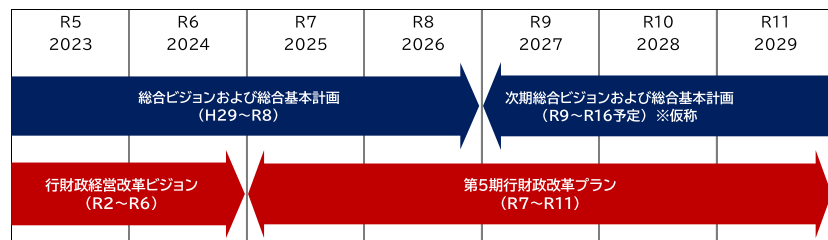
今後も人口減少が予測され、税金など主要な歳入の減少が見込まれる中、高齢化の進行による社会保障経費の増加や、公共施設等の更新・改修に要する費用や公債費の増加が見込まれます。

これらの課題に対策を講じなければ、歳入の範囲内で予算を組むことが困難になる厳しい収支見通しの中、社会情勢の変化や新たな行政ニーズに対応し、将来を見据えた持続可能な行財政運営を推進するため、引き続き行財政改革に取り組みます。



2.計画期間

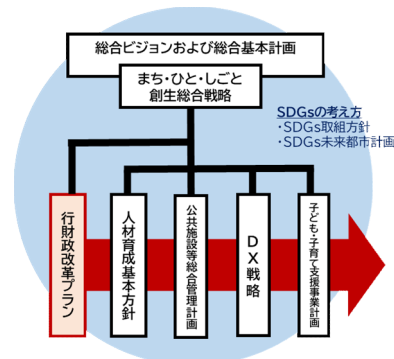
本計画は令和7年度を初年度とし、令和11年度を目標年度とする5年間の計画とします。なお、次期総合ビジョン及び総合基本計画の策定時や本市の状況・社会情勢等の変化に対応する為、必要に応じて見直しを行うものとします。



3.計画の位置付け

行財政改革プランは、富田林市の最上位計画である「富田林市総合ビジョンおよび総合基本計画」の経営的施策における個別計画として位置付けられ、今後の行財政運営を進めていく上での方向性を定めるものです。

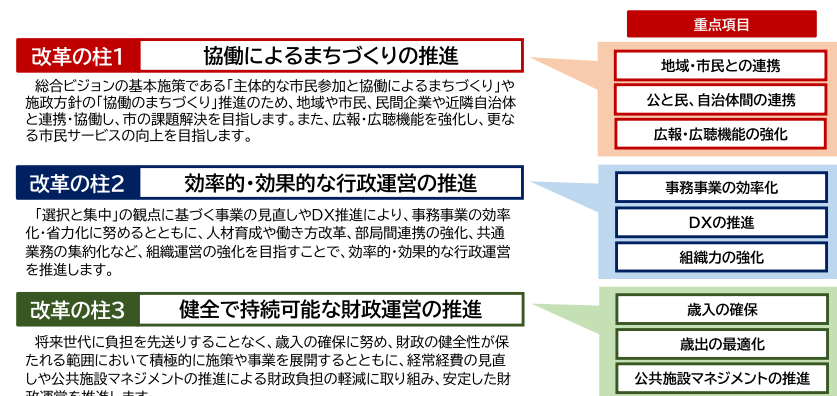
また、行財政改革の基幹計画として、人材育成基本方針や公共施設等総合管理計画、DX 戦略など、各計画に掲げる取組の目標を具体化し進捗を管理します。



4.基本方針と改革の柱

富田林市総合ビジョン・総合基本計画の経営的施策を踏まえ、第5期行財政改革プランの基本方針は「将来を見据えた持続可能な行財政運営の推進」とします。

また、改革の柱として3本の柱を定め、柱ごとに重点項目、その下の小項目に分類して取り組みます。取組項目は全80項目です。



5.目標

行財政改革プランの目標として、次の2つを目標とし、計画期間5年間での達成をめざします。

目標1 まちづくりに参加できる機会の満足度向上

目標値 70.0%(とても満足/やや満足の回答割合)

改革の柱1「協働によるまちづくりの推進」の取組により、市民アンケートの設問「まちづくりに参加できる機会の充実」に対する満足度の向上を目指します。

年度	回答	とても満足/やや満足	やや不満/とても不満	無回答
R5		56.7%	27.7%	15.6%
R3		54.9%	29.5%	15.6%
R1		55.2%	34.1%	10.7%

目標2 歳入増加・歳出削減効果額の達成

目標効果額 12億5541万円(計画期間5年間の効果額累計)

計画期間の赤字額の計である目標基準額5億8600万円を超えることを前提とし、目標効果額の達成を目指して取り組みます。



6.推進体制

行財政改革プランの取組を確実に実行していくため、行財政改革推進委員会において、毎年度、進捗を管理し、外部アドバイザーより専門的な知見から助言をいただきます。

また、計画当初の目標達成を基本とするものの、取組の進捗状況や事業の実施状況に応じて追加・見直しを行い、毎年度計画をアップデートします。

